

教育目標

「知性をみがき 心身をきたえ 進んで協力・奉仕する生徒」

まなびのプロジェクト

生徒の姿 目指す	★主体的に考え、判断し、表現できる生徒
達成基準	「授業がよくわかる(5教科)」と回答する生徒が85%以上 「授業で課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答する生徒が87%以上 「授業で進んで自分の考えを伝えている」と回答する生徒が65%以上 - 全国標準学力検査の平均偏差値が54以上
目標達成への取組	- 単元のまとまりを意識して授業を構想する。 - アクティブ・ラーニングの場面で、アウトプットの活動を積極的に取り入れる。 - ICTを活用して、互いの考えを交流する活動を積極的に取り入れる。 - 総合的な学習の場面で、探求的な学習の基礎づくりを行う。

こころのプロジェクト

生徒の姿 目指す	★互いに関わり合い、仲間のために活動する喜びを感じる生徒
達成基準	「先生や友だちに認められて、うれしいと感じることがよくある」生徒が85%以上 - 学校生活で、友だちと力を合わせて学習したり、活動している生徒が90%以上 - 自分のしたことが他の人に役立っていると感じることがよくある生徒が80%以上
目標達成への取組	- 学級・学年、行事、部活動などで、教師主導の場面を減らし、生徒自らがPDCAサイクル(計画→実行→評価→改善)を回していけるように活動を仕組む。 - 活動のふり返しを行い、互いの頑張りやよさを認め合う機会を設定する。 「あたり前五か条」を柱に、生徒が落ち着いて生活できる環境づくりを行う。 - ふりかえりノート等を通して、生徒のよさを認め、励ます。 - 教育相談週間を年3回設定し、生徒の気持ちに寄り添い、傾聴する。

からだのプロジェクト

生徒の姿 目指す	★心と身体を自らきたえる生徒 ★健康三原則(栄養・運動・睡眠)の大切さを理解し、望ましい生活習慣を実践する生徒
達成基準	- バランスのよい朝食を食べている生徒が85%以上 7時間以上睡眠を確保している生徒が80%以上 - 自分の健康を意識して、進んで身体を動かしている生徒が80%以上
目標達成への取組	「健康週間」で食事や睡眠・運動に関する自分の生活を見直す取組を行う。 「食育の日」の取組を核とし、全職員で継続的な食の指導に努める。 「ほけんだより」等を通して、家庭と連携した指導を進める。

特別支援教育

生徒の姿 目指す	★自分の個性と可能性を伸ばしている生徒 ★自分でできることを増やし、他者と関わりがもてる生徒
達成基準	- 他と関わる場面が増える - 作業や学習の質・量・速さが向上する
目標達成への取組	- 特別支援教育についての理解を深め、適切な教育や支援(UDL、合理的配慮)を行う。 - 保護者や関係機関との連携を密にし、個別の教育支援計画を立て活用する。

子どもたちが
自立して社会で
生きていく力

教師の 思い

- これからの変化の激しい社会を、たくましく・しなやかに生きる力を育みたい。
- 自ら考え、主体的に取り組む姿勢を伸ばしていきたい。
- 自己肯定感・自己有用感を高めたい。
- (コロナ禍でも)豊かな体験を味わわせ、社会性を身に付けさせたい。

現在の 生徒の姿

- 学ぶ意欲が高く、積極的に授業に取り組んでいる。
- 素直な態度で落ち着いた学校生活を送っている。
- 協力し合い、前向きに活動を行っている。

保護者や 地域の方の思い

- 一人一人の学力や興味・関心を伸ばしてほしい。
 - いじめがなく、友だちと仲良く過ごしてほしい。
 - 丈夫な体と健康的な生活習慣を身につけてほしい。
- (保護者アンケートより)